

## 特別プロジェクト最終報告

### 1. 銀行業と銀行・企業間関係の会計制度と実証

#### 1) 最終報告書

特別プロジェクト代表 梅澤俊浩（北九州市立大学）

### 2. 法廷会計学の創成—会計不正理論と実務教育との融合—

#### 1) 最終報告書

特別プロジェクト代表 中島真澄（金沢学院大学）

#### 2) 論文要旨 なぜ、日本において法廷会計学が必要なのか？

—非営利組織における不正防止の観点から—

榎本芳人（北海道大学）

「特別プロジェクト」は、ディスクロージャー研究分野の発展的あるいは新規的な領域、関連研究分野と連携した研究領域および公認会計士等の実務界と連携した研究領域に本学会が研究助成するものです。2016年度特別プロジェクトとしては上記の2件が採択されました。各特別プロジェクトの研究成果は、2018年5月19日（土）に横浜市立大学金沢八景キャンパスYCUスクエアにおいて開催された第17回研究大会（準備委員長：中條祐介氏）における「特別プロジェクト最終報告」にて報告があり、活発な討論がなされました。

特別プロジェクトは最終報告後に、本学会学会誌への研究論文掲載または市販本の発刊が義務となっています。特集（1）では、これに基づき各委員会から提出された研究論文を掲載しています。

なお、2.2)の榎本論文は論文要旨となっており、内容は1)の「最終報告」に含まれていますが、著者から英文要旨を含めた原稿の提出があり、掲載しています。